

憲法改悪反対の世論を、 全国からつくり上げよう！

国民投票法が成立したことで、憲法改悪をめぐる攻防は新しい段階に入りました。私たちは改めて日本国憲法の意義とその改悪の危険性を知り、国民投票をさせない闘い、憲法改悪をさせない闘いをつくりあげなければなりません。安倍政権の狙う憲法改悪は、自衛隊を合憲化して「自衛軍」とし、日本をアメリカの戦争に堂々と協力できる国に作り変えようというものです。しかしそれは憲法9条の改悪にとどまりません。戦争を実際にするためには、軍隊を持ち、交戦権を認めるだけでなく、国内整備が必要です。自民党の「新憲法案」は、国を愛し支え守ることを「日本国民の責務」と規定し、侵すことのできない永久の権利であるはずの基本的な人権を「公益」=国益によって制約することや国民主権を天皇制の下に貶めるなど、憲法の根幹を覆す内容をもっています。

安倍政権が狙う憲法改悪の危険性を人々に知らせ、改憲反対の広範な世論をつくりあげましょう。



マンガリーフレット『ヒトを縛る自民党新憲法案』
安倍政権が狙う憲法改悪の危険性を、二〇〇五年に自民党が発表した新憲法案をもとに、4コママンガと解説でわかりやすく説明しています。学習会などでは是非ご利用下さい。ご入り用の方は署名事務局まで、必要部数と送付先をご連絡下さい。(B5版16ページ 100円+送料) またホームページからダウンロードして使用される場合は、署名事務局まで一報下さい。



アメリカの戦争拡大と日本の有事法制に反対する署名事務局

〒580-0023 大阪府松原市南新町 3-3-28 阪南中央病院労働組合 気付FAX 072-331-1919

<http://www.jca.apc.org/stopUSwar/>

e-mail: stopuswar@jca.apc.org

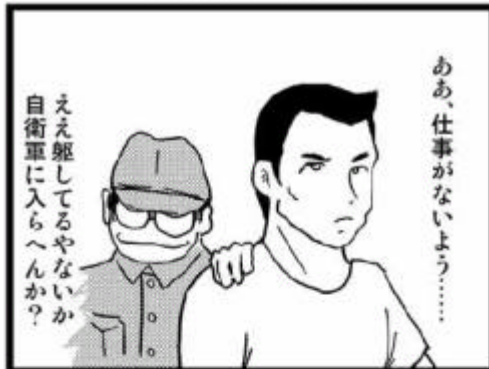
貧しい若者、職のない若者は派兵要員？ 憲法改悪も格差社会も反対！

安倍政権が、憲法改悪によって目指す国は「戦争のできる国」です。同時にそれはアメリカやイギリスのような「格差社会」「階級社会」です。この二つが結びついたときにどうなるか。それは、定職のない若者、貧しい若者、住むところがない若者が軍隊に入れられ、戦争にかり出される社会

です。そのために、改悪教基法が狙う愛国心教育、格差・差別・選別教育、今国会での成立が目論まれている教育三法の改悪があります。これは決して誇張ではありません。アメリカでイラクに送り込まれ、最前線で闘い犠牲になっているのは黒人やヒスパニックなどのマイノリティ、そして貧困層の若者たちです。

私たちは、憲法改悪反対の運動を、格差社会に反対する闘争、「教育改革」に反対する闘争と結びつけていくことが必要だと考えています。

自衛軍に入ろう♪



憲法にも愛国心

